

安全教育に係る協力活動

○原子力機構東海研究開発センターでの安全講演会

原子力機構東海研究開発センターにおける全国安全週間行事の一環として、安全意識の高揚を図ることを目的に、所外の専門家による安全講演会が各研究所において開催されました。

1). 核燃料サイクル工学研究所

7月4日(月)に、慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 高野研一 教授を講師にお招きし、「コミュニケーションから築く安全文化」と題する講演会がアトムワールド講堂において開催され、167名の方々が聴講されました。また、講演会には、東海ノア協定事業所から、2事業所3名の方々が参加されました。

講演会では、最近の我が国の組織事故から見た安全文化、なぜ安全文化が必要なのか、そして、安全文化を築くためにはコミュニケーションが重要であることなど、具体的な事例等を織り交ぜたご講演をいただきました。

〔講演される高野先生〕



2). 原子力科学研究所

7月26日(月)、原子力科学研究所・大講堂において、中央労働災害防止協会 マネージメントシステム審査センター所長 白崎彰久氏による「効果的に進めるリスクアセスメント 復旧時も含めて」と題する講演会が開催されました。講演会は、195名の方々が聴講され、東海ノア協定事業所からも1名の方が参加されました。

講演会では、「リスクアセスメントの方法は職場の特性に合うように改良することが成功のポイント」、「リスク低減対策は人の行動に委ねないことがたて方のポイント」などの講演の他、某研究所のリスクマネジメントシートに基づく実践例やマネージメントシステムによる効果事例の紹介など、震災復旧に向けての取組にも参考となる貴重な事例等を織り交ぜたご講演をいただきました。

講演される白崎先生と聴講風景



○危機管理講演会の開催

〔開催日〕 平成23年12月21日

〔場 所〕 原子力機構東海研究開発センター核燃料サイクル工学研究所
「アトムワールド」

平成23年12月21日に、原子力機構東海研究開発センター核燃料サイクル工学研究所「アトムワールド」において、(株)総合防災ソリューション取締役・危機管理業務部長 山本 忠雄 氏を講師とし、「東日本大震災と原発事故の教訓から危機管理を考える」と題する危機管理講演会が開催され、136名の方々が聴講されました。東海ノア協定事業所からは、1事業所2名の方が参加されました。

本講演会は、原子力機構における危機管理のあり方、現場の管理・監督者としての危機管理能力と使命感の向上を図ることを目的に、研究開発拠点職員等を対象とした危機管理講演会の一環として開催され、東日本大震災及び福島第一原子力発電所の事故等の危機管理上の教訓を踏まえ、「危機管理の基本的事項」、「東日本大震災及び福島第一原発事故の概要と危機管理上の教訓」、「原子力機構に求められる危機管理」について、震災VTRを交えた講演が行われました。



講演会の様子